

# 県内中小企業(製造業)景況動向

平成28年4月6月期

総じて厳しい状況が続き、設備投資の動きも鈍化

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲7.1	▲18.7	▲21.4	▲14.5

前年同期比の売上高D Iは▲18.4、収益性D Iは▲24.3で、両方を合わせたD I平均値は▲21.4となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは6.9ポイント上昇して▲14.5となり「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲36.4、収益性D Iは▲23.5となった。

また、雇人員判断D Iは26.5、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は31.6%となった。

### 繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
8.0	12.5	▲8.4	▲17.4

前年同期比の売上高D Iは▲8.4、収益性D Iも▲8.4で、両方を合わせたD I平均値は▲8.4となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは9.0ポイント下降して▲17.4となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは▲33.3となった。

また、雇人員判断D Iは17.6、設備操業率D Iは▲17.6、設備投資実施率は16.7%となった。



## 概況

売上高と収益性を合わせたD I平均値(前年同期比)については▲22.2となり、前回調査(28年1-3月期)の▲20.6から1.6ポイント下降している。来期見通しにおいては、4.0ポイント上昇して▲18.2となっている。

売上高D I(前年同期比)については▲21.5となり、前回調査から0.1ポイント下降している。来期見通しにおいては▲17.0となっている。収益性D I(前年同期比)については▲22.8となり、前回調査から0.3

1ポイント下降している。来期見通しにおいては▲19.4となっている。業況D I(前年同期比)については

▲19.1となり、前回調査から3.4ポイント下降している。来期見通しにおいては▲17.7となっている。原材料価格D I(前期比)については6.8となり、前回調査から2.3ポイント下降している。

販売価格D I(前期比)については▲6.4となり、前回調査から1.5ポイント下降している。

資金繰りD I(前期比)については▲10.3となり、前回調査から3.9ポイント上昇している。金融機関の態度D I(前期比)につ

いては2.4となり、前回調査から0.1ポイント上昇し緩和している。設備投資実施率については24.3%

となり、前回調査より6.3ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは、「プラスチック製品」で、目的別では、「品質向上」が32.1%でトップとなった。また、設備投資計画率については30.7%となった。

設備操業率D I(前期比)については▲18.2となり、前回調査から1.5ポイント上昇している。

雇人員判断D I(前期比)については4.7となり、前回調査から3.9ポイント下降している。

### 紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
3.1	▲35.3	▲29.8	▲21.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲26.3、収益性D Iは▲33.3で、両方を合せたD I平均値は▲29.8となり「小雨」模様になっている。来期見通しは8.8ポイント上昇して▲21.0となり「小雨」模様が続き見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲26.3、収益性D Iは▲42.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲21.1、設備操業率D Iは▲27.8、設備投資実施率は5.3%となった。</p>			

### 木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲31.9	▲22.2	▲15.0	▲20.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲10.0で、両方を合せたD I平均値は▲15.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは5.0ポイント下降して▲20.0となり「小雨」模様が続き見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲30.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは▲10.0、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			

### 金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲27.8	▲19.2	▲23.6	▲19.5
<p>前年同期比の売上高D Iは▲27.8、収益性D Iは▲19.4で、両方を合せたD I平均値は▲23.6となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは4.1ポイント上昇して▲19.5となり「小雨」模様が続き見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲30.5、収益性D Iは▲23.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲7.7、設備操業率D Iは▲23.1、設備投資実施率は27.8%となった。</p>			

### 窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲39.8	▲47.7	▲47.2	▲35.8
<p>前年同期比の売上高D Iは▲51.4、収益性D Iは▲42.9で、両方を合せたD I平均値は▲47.2となり「雨」模様が続いている。来期見通しは11.4ポイント上昇して▲35.8となり「雨」模様が続き見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲34.3、収益性D Iは▲21.9となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは▲3.1、設備操業率D Iは▲28.2、設備投資実施率は20.0%となった。</p>			

### プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲30.0	▲7.2	0.0	0.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは25.0で、両方を合せたD I平均値は0.0となり「曇」模様になっている。来期見通しは今回調査と同じく0.0となり「曇」模様が続き見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とも25.0%で0.0、収益性D Iも「好転」、「悪化」とも0.0%で0.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iも0.0、設備投資実施率は75.0%となった。</p>			

### 機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲4.3	▲12.5	11.8	8.7
<p>前年同期比の売上高D Iは▲3.8、収益性D Iは▲19.7で、両方を合せたD I平均値は▲11.8となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは3.1ポイント上昇して▲8.7となり「小雨」模様が続き見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲21.2、収益性D Iは▲29.1となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは4.2、設備操業率D Iは▲14.9、設備投資実施率は30.8%となった。</p>			